

ネモフィラ通信 NO.36

救命救急センターは、地域の3次救急医療を支えています！【前編】
～救命救急センター～



心筋梗塞でカテーテル治療が必要な患者さんや、脳出血により緊急手術が必要な患者さん、脳の血管が詰まり脳梗塞を起こした患者さんなど、救急車で運ばれる重症な患者さんについて、専門の知識・技術を身に着けた看護師が看護を行っています。患者さんは、突然重篤な状態になり、緊急搬送され、大きな不安を抱え入院されます。そのため患者さんやご家族の心に寄り添った看護がとても重要になります。私たちは、集中治療中の患者さんの状態管理やケアを、心に寄り添い、思いやりをもって、日々看護実践しています。

状態が安定した後、救命センターから退室となりますが、重症患者さんが回復に向かい、笑顔で一般病棟へ移動される時は、私たちの一番の喜びであり、励みとなっています。



いざっ！
て時のために
ちゃんと点検し
ておかないと！



この心筋梗塞の患者さんはこの血管が詰まっていたんだよね



先週のTOPIX 病院長の新年のあいさつ

1月4日JCHO本部理事長より、2024年新春メッセージが職員へ届けられた。その後、後藤病院長より新年のあいさつで昨年を振り返り感謝の意を伝えられました。DMATの出動と共に、2024年の意気込みを「今年の院長目標」として説明されました。組織一丸となり「復活と転換」の年としていきます。

「エイ、エイ、オー！」

